

# 感染症情報

6月23日～29日(第26週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。  
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★★★	→	コンスタントにみられます
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★★★★	↑↑	流行中です
⑥	溶連菌感染症	★★★	→	減少傾向です
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★		
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★★★	↓	減少傾向です
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★★	↓	減少傾向です
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★★★★	→	流行中です
⑪	手足口病	★★★	↑	増加予想
⑫	ヘルパンギーナ	★		
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★★★	↑	増加予想
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★★★	↑	高熱・発疹など
⑯	RSウイルス感染症	★		
⑰	インフルエンザ	★★★	↓↓	まれにみられます
⑱	新型コロナウイルス感染症	★★★	↓↓	まれにみられます
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★		
⑳	その他のかぜ症候群	★★★	→	高熱、咳があります

全体的に感染症は減少傾向ですが「伝染性紅斑」および「百日咳」が小流行中です。百日咳は中学生～大学生を中心に流行しているようです。  
また「水痘」も小学生を中心にコンスタントにみられています。  
「感染性胃腸炎」「インフルエンザB型」「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」は非常にまれになりました。  
今後増加が予想されるのは「手足口病」「ヘルパンギーナ」などの「夏かぜ症候群」および「アデノウイルス感染症」です。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある